

公表

## 事業所における自己評価総括表

○事業所名	多機能型重症児デイ きらめキッズ南蔵王		
○保護者評価実施期間	2026年 2月 10日		2026年 2月 20日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	7名	(回答者数) 6名
○従業者評価実施期間	2026年 2月 10日		2026年 2月 20日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	10名	(回答者数) 10名
○事業者向け自己評価表作成日	2026年 2月 24日		

## ○ 分析結果

	事業所の強み(※) だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	こどもの特性などに応じ専門性のある支援が行えている。	児童一人に専門性のある職員（看護師、保育士、理学療法士、児童指導員など）数名で関わり、支援プログラムを作成し関わっている。病院やリハビリ施設、訪問リハビリの見学、他の療育機関への見学や研修参加など行い質の向上に努めている。	ミーティングや施設内研修などでそれぞれの分野での関わり方を共有していく。研修への積極的な参加を促す。
2	固定化された活動プログラムではなくこどもの特性や発達段階を考慮し、個別に合わせた療育を行っている。	こどもの発達段階や特性を考慮し一人一人に合わせた療育活動を提供している。保護者との面談を行い要望を聞きながら支援に取り入れている。SNSや研修参加、他施設への見学などから情報を取り入れ視野を広げている。	研修、ミーティングの機会を増やし視野をさらに深めている。
3	こどもの状態を保護者と共有し、支援に活かしている。	連絡帳でその日の様子を伝え、送迎時も自宅や事業所での様子を連携している。定期的に面談を行い要望や支援内容について共有している。	保護者および職員間の連携を更に深めていき支援の充実を図る。

	事業所の弱み(※) だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	放課後児童クラブや児童館との交流、地域のこどもと交流する機会が少ない。	呼吸器装着のこどもや抵抗力の低いこどもがいるため検討を要す。	保護者の要望を聞きながら検討していく。
2	保護者会、家族支援プログラムの機会が少ない。	療育参観および保護者会の開催を計画したが参加者が少なく見合わせとなった。一日の利用人数が少なく、保護者の要望も違うため再検討していく必要がある。	芋ほりや音楽鑑賞、マジックショーなど家族で楽しめるイベントの開催を要望する意見が多いため検討していく。
3	災害時の訓練など行っているが保護者に周知できていない。	訓練の実施や様子を保護者に連絡できていない。毎日の通所ではないため通所日に訓練がない児童もいる。	計画を立て、利用予定表に記入していく。ホームページやインスタグラムなどにも投稿していく。連絡帳に記入したり、保護者に伝えていく。